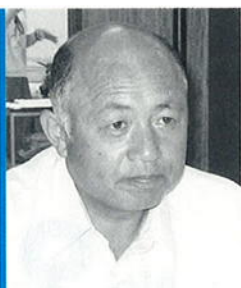


鹿島

功議長



「大山町は素晴らしい町」 誇りを持ってみんなでPRせんと

将来展望

—早速ですが、10年、20年後の大山町の夢とか展望を。

山口町長

合併してようやく3年目になりました。違った生い立ちの町の住民が、一つの町になってまちづくりに取り組んでいくには、様々な課題がたくさんあります。ただいまあ、町民の皆さんも、いろんな場面での交流も増えていますし、10年も経てば新しい大山町として、みんなが心を通うような町になっていくことを期待しています。

大山恵みの里構想ということを全面に掲げた総合計画、これを今取り組んでいるところですので、

こういった計画が、少しでも前進をする中で、産業も元気になって若者の定住化も進んで、明るい町にしていきたいですね。夢なんて言っちゃいけないね(笑)。現実としてそうなるように住民の皆

さんと一緒に取り組めるように、そういった願いを持っていくところです。

—山陰道の整備も進んで、米子とも鳥取とも近くなります。大山という観光

地もあり、いろいろ夢を描けるんじゃないでしょうか。

鹿島議長

そうですね。高速道路によって、大阪近辺、あるいは四国九州からどんどんと高速にのって大山に来ていただく、そして大山の恵みを受けた産品を買って帰っていただけるようにしていきたいですね。

それから、米子あるいは県外からこんなに素晴らしい自然のある町にきたい、住みたいという人がどんどんと増えてもらいたい。

ただ、高速道路も良し悪しで、ちょっと気を緩めちゃったらこの高速に乗ってどんどんと地元から出ていくという可能性もありますから、町長には危機感もすっかり持ってらって、町の舵取り

をしてもらいたいですね。10年後、大山町がどんな良くなる、そういう夢に向かって私たちも頑張っていこう、そう思っていますね。

町長

地域の活性化につながる高速道路整備も、議長が言われるようにマイナス面、流出する人もあるわけですよ。ただ、その責任というのはやっぱり地域の責任ですから、その高速道路を使ってどれだけ地域に魅力をつけるか、それがその自治体・地域の役割であり責任であると思ってるんです。

大山恵みの里作り計画も要は高速道路の開通を目指して、そこからいかに多くの人に道路を使って、移動時間をいかに短くして滞在時間を長くしてもらおうかという仕掛け作り、これが一つです。

それから無料の高速道路ができるということで、米子へも15分、20分で行けるんじゃないかと。そういう意味で、若者向けの定住というより、ワンストップでいいと思う

特別企画

「大山町の明日を語る」

財政難や少子高齢化などの厳しい町政の中で、大山町の未来や夢を山口町長と鹿島議長に語っていただきました。